

2025-26  
第1回例会  
2025.7.2

国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区

# 福島南ロータリークラブ会報



会員 77 名中 61 名出席 79.22% 修正 65 名 84.42 %メイクアップ 4 名  
例会会場/ウエディング・エルティ TEL 024-535-6188 毎週水曜日 12:30~

## ◆会長あいさつ 菊地和宏会長

この度 2025-26 年度 福島南ロータリークラブの会長を務めることとなりました、菊地和宏です。重責に身の引き締まる思いではありますが、「エンジョイ・ロータリー」の精神で、1 年間皆様と共に楽しみながら活動して参りたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、新年度を迎える直前、国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトが突然辞任するという驚きの報道がありました。しかし、すぐに後任としてイタリアのフランチェスコ・アレツツォ氏が選出され、迅速かつ冷静に対応されました。ロータリーは常に回転し、前に進み続ける組織です。どんな出来事が起きても、動じることなく前に進む姿勢に学ぶものがありました。

私たち福島南ロータリークラブも、東日本大震災という未曾有の危機を経験しました。地震、原発事故、避難民の問題など、大きな困難の中で、当時の大橋パストガバナーを中心に、クラブは丸となって復興支援に取り組みました。その結果、「福島南ここにあり」と、世界に存在感を示すことができました。まさに「災い転じて福となす」という言葉がふさわしい経験だったと思います。

現在、少子高齢化や景気の影響により、全国的に会員数が減少していますが、そんな中でも会員が増加しているクラブも存在します。その違いは何か？

私の答えはシンプルです。「活動が面白いかどうか」に尽きると思います。

私自身、ロータリー活動の意義が見えず、退会を考えたことがありました。ある先輩ロータリアンに相談したところ、「例会で一人ひとりに、なぜロータリーに参加しているのか聞いてみなさい」と助言され、実際に聞いて回ると、十人十色、さまざまな想いがあることを知りました。ロータリーの価値は一つではなく、会員の数だけ存在するということに気づかされました。

2025-26 年度は、福島南ロータリークラブにとって創立 55 周年という節目の年です。人間で言えば円熟期。これまでの歩みを大切にしながら、次の 60 周年へ向けて新たな一歩を踏み出す年にしたいと考えています。

人間が日々代謝を繰り返す、命をつないでいくように、ロータリーの理念「超我の奉仕」もまた、人から人へ、時代から時代へ受け継がれていくものです。マリオ・カマルゴ氏のテーマ「Unite for Good (よいことのために手をとり合おう)」は、まさにその精神を象徴する呼びかけです。新会長のアレツツォ氏も、この理念を引き継いで活動されるとのことです。

私たちも、クラブの慣例や形式にとらわれすぎず、若い会員や新しい仲間の意見を積極的に取り入れ、「もっと楽しく、もっと活気のあるクラブ活動」を実現していきましょう！



福島 21 ロータリークラブ

渡辺 浩子会長

◆新会員歓迎式

新会員：宍戸 均会員  
齋藤 陽一会員  
遠藤 利通会員

宜しくお願いします



◆前年度

ゴルフ部会取切戦表彰

◆スマイリング BOX 表彰

◆財団 BOX 表彰

◆米山記念奨学会表彰



増子 芳教会員



木橋 廣治会員



林 克重会員



黒羽 好夫会員

◆所信表明 菊地和宏会長



年間目標

1. 新入会員 5 名以上の増強
2. 経験の浅い会員の発言・提案・企画の機会を増やす
3. 外部スピーカーを招いた魅力ある例会の実施
4. 例会・入会式・セレモニー・来訪者対応の見直し
5. 会員向け LINE グループでの迅速な情報共有
6. SNS (Facebook・Instagram・X 等) による若年層への広報・勧誘

新しい挑戦を楽しみながら、活気あるクラブを一緒に作りましょう！

◆委員会活動計画発表



一年間

宜しくお願いします



スペースの関係で委員会  
を省略致しました